



RISSHO
UNIVERSITY

NEWS

Vol. 159
Autumn 2024

祝 本学卒業生がオリンピック出場 (P5)

速報

パリ2024パラリンピックにおいて、社会福祉学部卒業生の長谷川勇基さんが車いすラグビーの日本代表として出場し、見事金メダルを獲得しました。(2024年9月3日現在)



2025年度より授業時間と回数が変わります

P3 …… 2025年度授業時間と回数が変わります

P5 …… パリオリンピックに出場した立正生を紹介!

P8 …… 地元企業とのお茶作りプロジェクト

P10.11 …… 強化クラブ最新情報をお届け!



品川キャンパス 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 / Tel.03-3492-5250
熊谷キャンパス 〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700 / Tel.048-536-6010

Website

学園新聞Web版はこちらから

立正大学マガジン



大学祭のお知らせ

品川キャンパスの橘花祭、熊谷キャンパスの星霜祭が今年も同時開催決定！

橘花祭

KIKKASAI

テーマ

おうか
謳華



橘花祭SNS

開催日程 品川キャンパス

2024年

11月2日(土) 10時～17時

3日(日) 10時～15時



例年正門側の入り口にあるエアアーチを委員で協力して設置

第59回橘花祭のテーマは、「謳華(おうか)」です。「謳華」とは、「謳歌」と「桜華」の2つをかけた造語です。橘花祭が私たち学生にとって青春を謳歌できる場の1つとなり、そして、桜華という言葉の、桜の花のように美しく栄えるという意味から、立正大学が学生の手によってさらに繁栄して欲しいという思いが込められています。

学生一同協力をして、来場者の方や橘花祭に関わる全ての方が楽しんでいただけるように、日々委員会活動に取り組んでいます。

昨年度から、橘花祭はコロナ禍以前の2日間開催に戻りました。今年度も通常開催する橘花祭では、様々な企画を行う予定です。その中でも、特に注目していただきたいものを2つご紹介します。

1つ目は、橘花祭1日目の恒例企画となっている、ゲートシティ大崎から立正大学間で行うパレードです。吹奏楽部、応援指導部、そして、かわ

いキャラクターたちが大崎のまちを行進していきます。橘花祭のスタートを飾る盛大なパレードにぜひ注目してください。

2つ目は、縁日のブースです。輪投げや射的、ヨーヨーつりなどのお祭りでお馴染みのゲームや、わたがし、飲料の販売も行います。毎年、小さなお子様をお連れの方や、中高校生から大人の方まで、幅広い層に人気の企画となっています。

上記で紹介した企画以外にも、北海道産や九州産の新鮮で美味しい野菜販売ブースや、学生に人気の立正ミス・ミスターコンテストなど、来場者の方々に楽しんでいただけるような企画が目白押しです。

橘花祭を支えてくださる全ての方々へ感謝の気持ちを届けるべく、立正生が一丸となって作り上げた橘花祭を是非お楽しみください！



橘花祭で待ってるよ！

吹奏楽部、応援指導部、かわいいキャラクターたちが集合した昨年度のパレードの様子

星霜祭

SEISOUSAI

テーマ

Progress
～進歩と飛躍その先へ～



星霜祭SNS

開催日程 熊谷キャンパス

2024年

11月2日(土) 10時～17時



書道部と共同で制作した階段装飾

第37回星霜祭テーマは『Progress～進歩と飛躍その先へ～』です。Progressには進歩、前進の意味があります。星霜祭の伝統をつないできた先輩方への敬意を表するとともに、星霜祭をさらに飛躍させ、その先のよりよいものにしていくという想いを込めました。また、伝統を連綿とつなぐという意味から、第1回テーマ『Dreamin'～夢をわすれかけてる少年たちへ～』や第36回テーマ『Connect～つなぐ未来の学生たちへ～』を意識したものにしています。

第37回星霜祭の企画内容をご紹介します。まずは昨年同様、タレントの方をお招きし、楽しい講演を実施する予定です。さらに、前回ご好評いただいた地域のキッチンカー出展や特殊車両の展示は、規模を拡大して実施します。また、課外活動団体や有志団体による展示企画や体験企画、パフォーマンス企画等も行われます。星霜祭の最後には豪華景品が当たるビンゴ大会の実施も予定しております。各団体、星霜祭に向けて着々と準備を進めています。

以前より星霜祭は卒業生の方が多く来場され、その中でもこの学園新聞を見て来場されたと思われる卒業生の方も数多く見られます。星霜祭は、同窓生が集まる場、課外活動団体の縦のつながりを作る場であり、広く世代を超えた集いの場と

なっています。そのため卒業生の皆様には、ぜひ星霜祭にご来場いただき、今の星霜祭、立正大学熊谷キャンパスの様子をご覧いただきたいと思っています。

星霜祭の成功には我々の力だけでなく、皆様のお力が不可欠です。新型コロナウイルス感染症の影響で、開催自体の中止や学外からの来場ができない時期もありましたが、昨年からは以前のようにどなたでも制限なくご来場いただけるようになりました。学生はもちろんのこと、卒業生やご家族、ご友人など是非お誘い合わせのうえご来場ください。私たちと一緒に星霜祭を盛り上げましょう！



さあ、星霜祭にレッツゴー！



地域のキッチンカーによる出展

2025年度 立正大学の授業時間と授業回数が変わります



どうして
変えるの？

立正大学では、2025(令和7)年度から、これまでの「1コマ/90分・7時限」の時間割を「1コマ/105分・6時限」に変更します。さらに、授業期間を現行の半期「15週(回)」から「13週(回)」に短縮します。

授業期間は、2022年の大学設置基準の改正により、「大学の判断により多様な期間が設定できる」ことが明確化されました。この改正を受け、本学でも慎重に検討を重ねた結果、従前と同じ総授業時間を確保しつつ、半期13週(回)とすることで、ゆとりをもった学年暦を作り上げるとともに、授業時間を長くすることで多様な教育方法を取り入れた授業を展開し、一層の教育効果を高めることを目的として、授業時間割の変更を決定しました。

変更の主な目的や変更点等は次のとおりです。

●変更の主な目的

1 柔軟で多様な授業実施

授業時間を長くすることで、アクティブラーニング等多様な教育手法を授業に導入できるようになります。

2 授業のない期間における様々な活動の推進

授業実施期間が短縮となることで、海外留学やインターンシップ、ボランティア活動等の機会を確保しやすくなります。

3 ガイダンス期間の確保

授業開始前のガイダンス期間に余裕ができ、入念な履修計画を立てることができるようになります。

なるほど!



どのように
変わるの？

●変更点

現在

90分×15回授業
90分×30回授業



新

105分×13回授業
105分×26回授業



いつから
変わるの？

●変更の時期

2025(令和7)年
4月1日～



新しい授業時間

時限	(現行)時間割	(新)時間割
1限	9:00~10:30(90分)	9:00~10:45(105分)
2限	10:40~12:10(90分)	10:55~12:40(105分)
3限	12:50~14:20(90分)	13:25~15:10(105分)
4限	14:30~16:00(90分)	15:20~17:05(105分)
5限	16:10~17:40(90分)	17:15~19:00(105分)
6限	18:00~19:30(90分)	19:05~20:50(105分)
7限	19:40~21:10(90分)	

50分モジュールの導入(大学院一部研究科のみ)

大学院の一部の研究科ではモジュールの導入も行います。1つの授業は105分で行いますが、5限・6限については、「a・b」の2つの「モジュール」という50分ごとの単位に区分けし、さらに6限終了後の時間帯にナイトモジュール(Nm)を設定します。単体のモジュールで授業を実施することや、2つのモジュールを組み合わせる授業を実施する等、柔軟な時間割編成が可能になります。

	モジュール	モジュール時間	モジュール活用	ナイトモジュール活用
1限		9:00~10:45(105分)	1限	1限
2限		10:55~12:40(105分)	2限	2限
3限		13:25~15:10(105分)	3限	3限
4限		15:20~17:05(105分)	4限	4限
5限	a	17:15~18:05(50分)	5b+6a (105分)	5限
	b	18:10~19:00(50分)		
6限	a	19:05~19:55(50分)	6b+Nm (105分)	6限
	b	20:00~20:50(50分)		
N	Nm	20:55~21:45(50分)		Nm(50分)



撮影=高野楓菜(朝日新聞出版 写真映像部)

さ た よし ひ こ
佐多 芳彦 教授

所 属: 文学部 史学科

研究分野: 有職故実、
日本古代・中世史

Profile

國學院大學文学部史学科卒業後、同大学院文学研究科日本史学専攻博士課程後期を単位取得満期退学。主要著作には「服制と儀式の有職故実」(吉川弘文館、2008)や「武士の衣服に歴史を読む 古代中世の武家服制」(吉川弘文館出版、2023)があり、NHK大河ドラマの「光る君へ」、「平清盛」などの時代考証を担当。

趣味/
仕事、研究

休日の過ごし方/
仕事、研究、ソロキャンプ

好きなスポーツ/
自動二輪、スキューバ・ダイビング、
ソロキャンプ

犬派・猫派/
両方

学生と関わることで 得られる新しい考え方や議論が 研究意欲を掻き立てる

Q1
どんな研究をしているの?

ゆうそく こじつ
日本史の中では有職故実という分野を専攻しています。平安・鎌倉時代を研究のフィールドとして、貴族や武士、庶民の服装を通じて歴史を読み取るものです。衣服は昔も今も着るに際してT.P.O.があります。ですから社会や共同体、儀式・儀礼観の検討も必要で、いわばむかしの人々の生活全般も研究対象です。衣服から始まった研究ですが、持ち物や家具・調度、住まいなどいろいろなことに興味を持っています。また、平安時代からスタートしたものの興味の赴くままに史料や参考書・論文・歴史図像などを漁ってしまい、飛鳥から江戸時代まで研究のフィールドが広がってしまいました。今は、後の時代にいい影響を残すことのできる研究をしたと思っています。

Q2
その研究を始めようと
思ったきっかけは?

歴史図像・絵画史料を研究に有効に使うのが私の有職故実研究の特色です。父親は歴史画とよばれた近代日本画を得意とする日本画家でした。その父自身が模写した絵巻物が家にごろごろしていたことが幼児体験としてあるのかもしれませんが。またその父が挿絵や装丁を担当した古典文学全集や時代小説の本も家にはたくさんありました。中でも古典文学全集の中古文学は非常におもしろいものでした。自分が歴史学に魅かれる原因の1つです。高等学校では勉強ができなさ過ぎて工業高校に進学しましたが、いろいろ迷って一浪して、割りと有名な史学科のある私立大学に進学しました。学生としての4年間、院生としての6年間、以後は紆余曲折があって今にいたります。

Q3
学生には4年間で
どのようなことを学んでほしい?

君たち一人一人の判断で進学した大学、そこではいろいろな出会いが君たちを待ち受けています。

知識との出会い、人との出会い、世界との出会い、いろいろな場面に出くわすのが大学生活です。そこで感じたこと・ものを精一杯受け止め、そして考えて、大切にしてくれるとうれしく思います。みなさんが僕らと同じくらいの年齢になったとき、かけがえのない思い出であったことに気づき、大切な思い出になると思います。またその4年間で後の人生にとっても大きな影響を与えてくれるはずです。どうか悔いのない学生生活を送ってくださる様に。



撮影=高野楓菜
(朝日新聞出版 写真映像部)



みんなのゼミ自慢

税法分野のディベートに特化 交流戦へ向けて団結力と理解を深める



長島ゼミ

長島弘ゼミは、税法分野のディベートに特化したゼミで、他大学との交流戦を通じて税法についての理解を深めています。

普段の授業では、まずディベートの議題となっている判例について意見を出し合い、裁判例や文献などを読み、理解を深めていきます。次にゼミ内で納税者側、国税庁側の立場にわかれて実際にディベートをします。ディベートで見つかった問題点や反省などを、先生とともに振り返ること

を繰り返し、例年秋頃に開催される本番に向けて準備をしていきます。

夏休み期間中にはゼミ合宿も行っています。合宿では観光などを通して、2・3年生の交流を深めたり、ディベートの準備をします。さらに税務署見学も行っており、今年は品川税務署を訪問し、現役の税務職員の方から国税専門官の業務について直接お話を聞くことが出来る貴重な経験をさせていただきました。

活動の集大成となるのが、四大学税法ディベート大会に毎年出場している青山学院大学の木山ゼミとの交流戦です。私たちのゼミは、その大会前に木山ゼミと練習試合をさせてもらっていますが、木山先生からは長島ゼミとのディベートは毎年鋭い意見をいただき、本番に向けてよい練習になっていると、評価をいただいています。

ディベートに向けて準備をしていく中で、意見がかみ合わないことや、意見が出ないことなど行き詰まることが多く

ながしまひろし
長島 弘 先生
(法学部)



記事: 小川 哲平さん(法学部法学科3年)
千葉県立千葉商業高等学校
まつぞの ひろき
松園 弘輝さん(法学部法学科3年)
私立保善高等学校

ありました。そんな時は長島先生に意見を聞いたり、ゼミのメンバーで団結することで、本番のディベートを乗り越えることが出来たと思います。

私たちのゼミのよさは、横のつながりがあるのはもちろん、学年関係なく意見を出し合えることや、実際に税理士資格を持っている長島先生から専門的な意見をもらえることです。税法について興味のある方や、ディベートをやってみたいと思った方はぜひ見学にいらしてください。



長島ゼミ授業内ディベート

活躍する校友 /

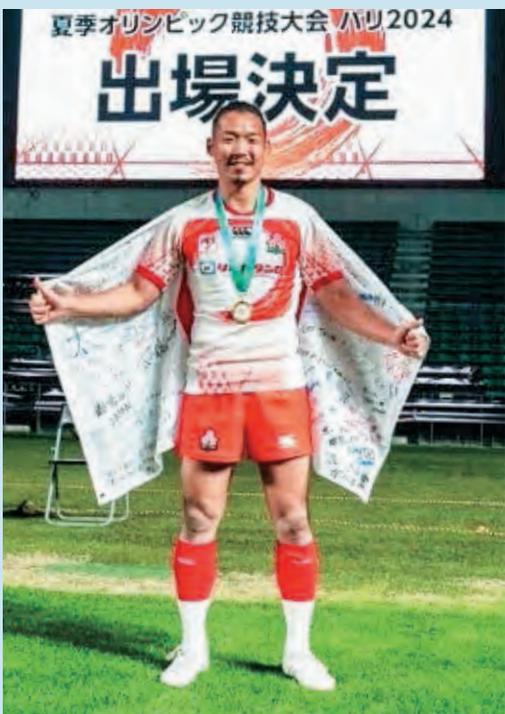
立正人

RISSHO BITO

ラグビー レッドハリケーンズ大阪 所属

よしざわ たいち
吉澤 太一さん

2014年 社会福祉学部社会福祉学科卒業



パリオリンピック7人制ラグビーに 日本代表として出場!

パリ2024オリンピック競技大会7人制ラグビー日本代表として活躍した、卒業生の吉澤太一さん。学生時代のことやキャリア、パリオリンピックを終えて、お話を伺いました。

ーラグビーを始めたきっかけはなんですか

中学2年生の時に、幼馴染に誘われたのがきっかけです。初めてラグビーを見た感想は、骨と骨がぶつかる音がして怖い。しかしざやってみると、自分を表現することが苦手な私が、ラグビーだと表現できたんです。

ーラグビー部に所属されていた時は、 4年時に主将だったと聞きました

当時部員は100人を超え、AからEチームまでありました。多くの選手が高校までトップレベルでやっていたからこそぶつかることが多く、まとめるのに苦労しました。自分が主将として意識して行ったことは、「全部員と1日1回話す」。それは、挨拶や些細な会話でもよく、話しやすい雰囲気作りに努めていました。自分は大人数をまとめてきた!というよい経験で、自信になっています。

ープロラグビー選手になってからのことをお聞かせください

大学卒業後、コカ・コーラレッドスパークスに入団し、8年間プレーしました。経営難からチームが解散となり現チームに移籍しました。前所属チームが大好きで、新しいチームにフィットするのかなど不安なこともありましたが、自分をラグビー選手にしてくれたコカ・コーラにも、拾ってくれたドコモにも感謝しています。現チームで活躍し、前所属チーム名・現所属チーム名が露出することで、過去にこういうチームがあったことを一人でも多くの人に伝えたくて、その思いを背負って日々プレーしています。

ーパリオリンピックを終えて

まずは、現地や日本からたくさんの応援ありがとうございました。日本代表は、11位決定戦でウルグアイ代表に10対21で敗れ、12位で大会を終えました。オリンピック出場は、私が7人制ラグビーを始めた時からの夢でした。その夢が叶い、今までしてきた努力や我慢が報われたと思います。最初はバックアップメンバーでの登録でしたが、試合に出場することができ、腐らず諦めないでやることの重要性を改めて感じることも出来たオリンピックでした。



ー進路を考える立正生にメッセージ

私は、明確な将来の夢がなく立正大学に入学しましたが、ラグビーを通して様々なことに挑戦出来たからこそ、今の自分があると思っています。今は、昔に比べ沢山の選択肢から仕事を選ぶことができます。好きなことが1つでもあるなら、まずはそれを突き詰めてみてください。見えてくるものがきっとあります。頑張れ、立正生!



学部あれこれ

立正大学各学部から届いたレポートです！

経営学部

ふるさと納税寄付率向上のための官学連携活動

経営学部杉原ゼミナールでは、研究推進・社会貢献センターのコーディネートのもと、埼玉県西部にある毛呂山町との連携活動に取り組んでいます。具体的には、ふるさと納税の寄付率アップにつながる方策を考えています。

まず、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」に掲載されている返礼品について、画像のアスペクト比、キャッチコピーなどに注目して検討しました。昨年8月、毛呂山町役場での打合わせ後、スタッフの方々と一緒に現地調査を行い、アクセスが比較的良好な場所にアクティビティ施設がある点に着目し、2023年11月に体験型返礼品であるパラグライダー体験に学生自ら挑戦、撮影したPV（プロモーションビデオ）をふるさとチョイスに掲載されるに至りました。

さらに、今年5月にはゆずの里オートキャンプ場とローズガーデンの魅力を伝えるべく、テント設営をしてのBBQを中心とした動画撮影を行い、PVとして編集しました。

6月22・23日にはイオンタウン毛呂山で開催されたMoreMoroフェスティバル（通称、モロフェス）のふるさと納税PRブースに学生スタッフとして参加し、寄付率向上につなげるべくアピールをしました。

授業で学んだ分析手法、そして、Aestheticsやレピュテーション・マネジメントのような感性マネジメント手法を使って基本戦術を考案し、それを実践に生かすアプローチで、新たなPVの作成、返礼品の考案、毛呂山町主催のビジネスコンテストに取り組むなど、今後も挑戦は続きます。



モロフェスのふるさと納税PRブースにて、毛呂山町のオリジナル法被とともに。



返礼品PV撮影のため、パラグライダーに挑戦する学生。

ふるさとチョイス

YouTube
（パラグライダー＋
キャンプ場のようす）

経済学部

学生課外学習プログラム「農業体験を通じた実践教育プログラム」を実施

経済学部では、通常の授業では実施が難しい多様な教育プログラムを「学生課外学習プログラム」と位置づけて、専任教員の指導の下、学生のために研究・調査・視察・研修の機会を設けています。専任教員がテーマを決め、学びたい学生を集めて勉強会や研修旅行を行います。多くの学生がこのプログラムに参加して、授業とは異なる有意義な体験や学習をしています。

2024年度は東京都の東久留米市および清瀬市、埼玉県さいたま市、岩手県八幡平市、長野県小布施町での調査や研修を予定しています。

今回は、このうち、「農業体験を通じた実践教育プログラム」（代表：北原克宣教授）についてご紹介いたします。

このプログラムは、農作業や農家の方との交流を通じて農業・食料問題をより身近なものとして考えられるようになることを目的としたもので、東久留米市では畑作農家における農作業の補助、清瀬市では畑の一部を使った農業の実践（栽培計画から販売までを実践する取り組み）、さいたま市では水田での作業に取り組んでいます。

写真は、5月18日にさいたま市で開催されたNPO法人「農の未来ネットの「田植え祭り」」に学生が参加した際のもので、快晴の空の下、素足で田んぼに入った学生たちは、慣れない手つきながら2時間ほどかけて無事に作業を終えることができました。

「疲れた」と口にしながらも、風になびく稲を満ちけにながめる学生たちの横顔が印象的でした。



実際に学生たちが田植えをした田んぼ



田植え祭りの様子

データサイエンス学部

グローバルな躍動のためのデータサイエンティスト

データサイエンティストがグローバルな舞台で活躍するためには、多方面にわたる取り組みが必要です。ここでは、特に東南アジアとの連携を通じて、データサイエンスの分野での国際協力と人材育成を進める戦略について考えてみましょう。

まず、データサイエンス学部がカンボジアのプノンベン大学との交換留学制度を設けることで、異文化間の学術交流を促進します。学生や研究者が互いの国を訪れることで、新たな研究方法や文化的な視点を学ぶ機会を持ち、国際的な視野を広げることができます。さらに、カンボジアの統計局や国立企画統計研修所の政府機関に対して、データ分析の技術を身につけさせるためのIT研修を提供し、その国の行政能力の向上を図ります。こうした研修では、実際のデータを使った演習を通じて、データサイエンスの実践的なスキルが伝授されます。

次に、カンボジアの政府統計データやIPUMS-Interna-

tionalの世界各国の国勢調査データを統合したデータベースを利用し、グローバルなデータ分析と地域間の比較研究を行います。このデータベースを活用することで、経済成長、教育水準など様々な指標について国際的な比較が可能となり、政策立案や学術研究に役立つ洞察が提供できます。また、データの可視化やモデル化を通じて、より効果的な政策の策定が期待されるでしょう。

最後に、データサイエンス学部は、政府統計の調査票情報が利用できるオンサイト施設の運用や匿名データの教育や研究の利用を推進し、データサイエンスの基盤を国内でも強化しています。これらの取り組みに対して、ベトナム、エジプトやラトビアなどの海外からの視察があり、国境を超えた協力体制が整い、グローバルに活躍するデータサイエンティストを育成する土壌が整いつつあります。将来的には、これらの活動がさらに拡大

し、世界中の課題解決に寄与するデータ駆動型の解決策が増えていくことが期待されます。



上：
カンボジア統計局における
IT研修 集合写真

下：IT研修風景



RISSHO JUNIOR&SENIOR HIGH SCHOOL

立正大学付属立正中学校・高等学校

体育祭がにぎやかに開催される

6月11日(中学校)、12日(高等学校)の2日間、大井ふ頭ホッケー競技場で体育祭が開催されました。両日ともに快晴に恵まれ、多くの保護者の観覧の中、生徒たちは元気よく動き回っていました。

中学・高校ともに多くの実行委員が中心となり、器具の準備から撤収まですべて段取りよく取り仕切っていました。

中学生はクラスごとに工夫を凝らされた横断幕を作り、会場に飾られました。走るなどの競技ばかりでなく、学年ごとの集団演技もよく練習され、一糸乱れぬみごとなマスケームを披露していました。

高校の4ブロックにわかれた大きな幕もみごとな出来栄で、個人競技同様に男子・女子それぞれの集団演技も見ごたえのあるものでした。また昼食の時間帯に行われた4ブロックそれぞれの応援合戦も圧巻の出来で、短期間の練習にもかかわらず立派な演技でした。また、クラスごとに作られたタオルなどのグッズもあり、体育祭にける熱い気持ちが伝わってきました。

師親会からは生徒一人一人に2本の水とお茶のペットボトルが配布され、熱中症予防への対策も万全でした。2日間ともに大きなけが人や病人も出ることなく無事に終了いたしました。



高校3年K組 集合写真



高校生 ジャンボバトンリレー



中学3年生 お助け綱引き

先生の素顔

いまづしんのすけ
今津 慎之介先生
(社会科)



立正大学法学部に在籍し、硬式野球部で活躍しました。大学卒業後、立正大学浜南高等学校に社会科教諭として着任しました。浜南高校では6年間、野球部の顧問、そして舎監(寮の責任者)として部員と24時間寝食を共にし、野球漬けの日々を送りました。野球は小学生から始め、中学・高校までキャプテンとしてリーダーシップを発揮してきました。自分が務めた捕手はゲーム全体を見渡し、試合作りをする重要な責任あるポジションです。練習の成果が表れ上達すると、野球がさらに楽しくなり、長く続けてきた好きな野球ですが、指導者として選手を育てたいという思いに変わり、立正大学では選手を続けながらコーチ術も学びました。その技術が浜南高校で生かされ、在籍当時、島根県大会では春・夏・秋共に準優勝まで勝ち進みました。その後、東京の私立高校や川崎市の公務員を経て、縁あって今年から立正中学・高校に赴任しました。現在は中学1年生の担任として、また高校男子バレーボール部の顧問を務めています。「教員は生徒の鑑である」という思いがあり、教員自らが率先してあいさつや礼儀の見本を示すことが大切だと考えています。生徒には、これから高校、大学、社会人に成長していく過程で、まず己のことをよく知り、他者のアドバイスを受け入れられる素直な心を持ってほしいと思います。そして、人間相互のコミュニケーションをいつまでも大切にしてほしいと願っています。



RISSHO UNIVERSITY SHONAN HIGH SCHOOL

立正大学浜南高等学校

立正大浜南高校 女子バスケットボール部創部

今年度より新たに創部し、活動をスタートしました。部員は1年生8名です。日々試行錯誤の中、体づくり・基礎の土台作りを中心に練習に励んでいます。また、県外へ強化遠征に出向き、目標の達成に向けて必要なことを学び、成長を肌で感じているところです。

5月には、初めての公式戦となる島根県高等学校総合体育大会に挑みました。選手たちは緊張した様子でしたが、気迫あるプレーで応え、初戦を白星で飾ることができました。続く準々決勝では、県内上位校に挑み敗れましたが、今後に向けて多くの収穫があるデビュー戦となりました。これからの女子バスケットボール部の応援をよろしくお願いします。



先生の素顔

まつちか あいり
松近 亜衣莉先生
(保健体育科
女子バスケットボール部)



今年度より、保健体育科、女子バスケットボール部ヘッドコーチとして着任いたしました松近亜衣莉と申します。私は、学生時代からバスケットボール部に所属し、小学校、中学校、高校、大学のすべてのカテゴリーで多くの全国大会に出場してきました。自らが感じ体験したことだけでなく、周りの素晴らしい指導者の方々を見本に、指導者として生徒とともに成長し続けていきたいと思っています。

立正大浜南高校という素晴らしい学校、環境、仲間とともに日本一へと導いていきたいです！覚悟をもって取り組んでいきます！

戦績	
島根県高校総体	ベスト16
二回戦	vs 松江東 60-100●
初戦	vs 三刀屋 74-52○



女子バスケットボール部
キャラクター
ビクター(意味:優勝者)

01 シンポジウム 「シルクロードとニューツーリズム」

5月11日に品川キャンパスのロータスホールにて、タシケント国立東洋学大学・立正大学 学術交流協定締結記念シンポジウム「シルクロードとニューツーリズム」を開催しました。本学は2014年から仏教学部、文学部、地球環境科学部の教員を中心に「立正大学ウズベキスタン学術調査隊」を組織し、遺跡発掘調査・保存、また研究者・学生の交流事業などを行ってきました。



ディスカッションを行う参加者

今回、タシケント国立東洋学大学からは、カフラモン東方諸国共同研究センター長が伝統舞踊や民芸品作りを体験する「エスノ・ツーリズム」について講演され、ノディール東方文化遺産研究センター長は、「ウズベキスタンの巡礼観光の可能性」と題してテルメズやサマルカンドなどの聖地を紹介されました。また、地球環境科学部からは、深瀬浩三准教授が、ワインツーリズムがもたらす産業振興や地域文化発信について、川添航講師が日本における宗教ツーリズムの多様性について話されました。



ウズベキスタン学術調査隊HP

当日はタシケント国立東洋学大学のドゥルベク副学長が来賓挨拶をされ、2023年の同大との学術交流協定締結を契機とし、ツーリズムの観点からも交流を進めていくことを期待されていました。

02 「JICAカメルーン来校」

7月4日、国際協力機構（JICA）が行っている「カメルーン国包括的BDS（ビジネス開発サービス）提供システムの展開を通じた企業競争力強化プロジェクト」の一環として、カメルーン国副大臣チャナ・ジョゼフ氏（中小企業・社会経済・手工業省）ら18名が本学を訪れました。本プロジェクトはカメルーンで中小企業に携わる政府機関の幹部・職員、カイゼン協会幹部コンサルタントを対象としており、日本の中小企業支援制度について学ぶために来日し、経営学部の川村教授が専門とする中小企業研究に関連して、研究交流を通じた日本との関係構築に貢献すべくお迎えいたしました。理事長や学長らとの面会、川村教授による日本の中小企業支援に関する講義のほか、経営学部生との交流や経済学に関する授業見学も行いました。特に川村教授の講義後の質疑応答では、日本の中小企業診断士の環境や中小企業支援の実態について、カメルーン国の幹部職員やJICA関係者から熱心な質問がありその真剣な姿が印象的でした。



対談をした経営学部の学生との集合写真

03 立正大学×地元企業による オリジナル日本茶制作プロジェクト

立正大学と地域との関係深化や学生による地域活性化への貢献を目的として、本学の学生が熊谷市妻沼地区のお茶屋「茶の西田園」様と協働してオリジナル日本茶の制作に取り組みました。

熊谷・品川両キャンパスから7名の学生が参加したプロジェクトは、2023年秋にスタート。キックオフミーティングでは西田園小林社長からお茶作りについてレクチャーを受け、参加学生がそれぞれ作ってみたいお茶の味・コンセプトなどを発表し、完成までに必要な作業工程や検討事項を話し合いました。団らんやおもてなしの場面で古くから親しまれてきた日本茶ですが、昨今では利便性の高いペットボトル商品などに置き換わることも多く、今回のプロジェクトで作った商品が、若い世代にとって日本茶を好きになるきっかけとなって欲しいとの意見が多く出されました。

制作作業では、思い描いた商品イメージに近づくようお茶の種類や配合を繰り返し吟味し、老若男女幅広い層に手に取ってもらえるよう茶袋のデザインにもこだわりました。学部・キャンパスが異なるメンバーなので活動スケジュールの調整など難しさもありましたが、それぞれが得意分野に取り組めるよう役割を分担し、オンラインツールを活用して進捗を共有することで、全員で効率よく各作業を進めることができました。また、活動の途中には熊谷市のラジオ局「FMクマガヤ」に小林社長とメンバーが出演し、地元リスナーに向けてプロジェクトのPRも行いました。

何度も試行錯誤を重ねた末、2024年春に「緑翠（りょくすい）」と「甘橙（おれんじ）」というコンセプトの異なる2つのオリジナル日本茶が完成しました。どちらも立正大学の校章にデザインされる橘にちなみ、「緑翠」は橘の葉の緑を連想させる深い味わいを楽しむことができ、「甘橙」はオレンジピールをブレンドして柑橘系の風味に仕上げられています。完成した商品は地域イベント等で紹介・販売を行い、立正大生と地元企業とのコラボ商品は多くの方から好評を得ました。

参加した学生にとっては商品開発やチーム作業を学ぶ貴重な機会となり、また、プロジェクトにおける地元関係者からの様々な協力を通じ、大学と地域との結びつきの重要性を認識したようです。今後も大学と地域との連携、学生の地域での活躍について情報を発信してまいります。



キックオフミーティング風景



ブレンド作業風景



いろいろな種類のお茶を試飲



参加学生と完成した商品

立正大学未来教育応援募金 のご案内

立正大学では、幅広い学識と教養豊かな人材を育成するため、教育研究活動のさらなる充実に取り組んでおります。本学の教育研究環境を一層充実・発展させるため、未来教育応援募金へのご協力をお願いします。



〈お申込み・お問い合わせはこちら〉

https://www.ris.ac.jp/rissho_school/donation/index.html

立正大学総務部総務課 TEL:03-3492-2681



国民に正しい投資文化を広める

資産を育てる 資産形成

株主の入口

KABUNUSHI no IRIGUCHI



NISAの相談
お受けします



株主の入口では、株の売買差益（キャピタルゲイン）だけを目的とはせず、専門家による適切なアドバイスにより、株主としての金融知力を身につけ、国民経済に寄与し、豊かな人生を送っていただくことを目的に、設立したプロジェクトです。

Japan Business Brainは、資産運用のアドバイスを行う金融のプロフェッショナルの集まりで、全国に展開しています。
資産形成・資産運用 子供向け金融教育 セカンドオピニオン 企業型確定拠出年金(DC)サポート 生命保険コンサルティング・家族信託

株式会社 Japan Business Brain 金融商品仲介業者関東財務局長(金仲)第911号
東京都中央区日本橋箱崎町32番地3-609号 ☎03-6206-0978

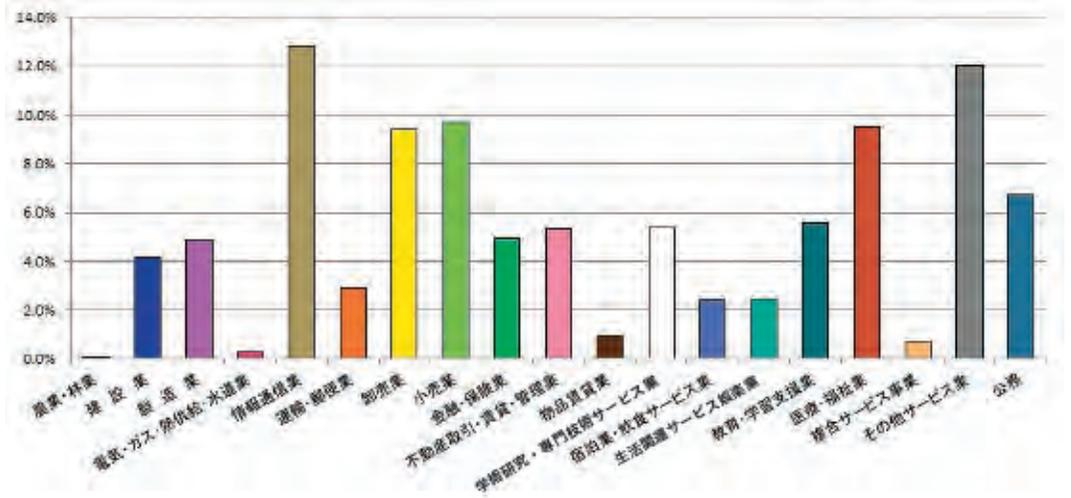
2023年度卒業生の就職率は過去最高水準 新たに課題解決型インターンシップを開講



2023年度卒業生の就職状況

2023年度の本学卒業生(2024年3月卒)の就職率は97.0%(前年比0.5ポイント増)で、大卒採用市場において全国的にコロナ禍から回復した2022年度に続き、過去最高だった2017年度の97.1%に次ぐ高い水準となりました。

業種別就職者数では、上位5位までの情報通信業、小売業、医療・福祉業、卸売業、その他サービス業は昨年度と同様ですが、それ以下では金融・保険業(前年比約1.4倍)、教育・学習支援業(同約1.3倍)など大幅増となった業種もありました。金融業では信用金庫・信用協同組合への就職者が約2倍となり、大学での学びを生かすとともに、地域社会の発展のため地元根付いた就職活動をする学生が多く見られたのも特徴的でした。



インターンシップの定義改正を受け、新たに課題解決型インターンシップを開講

業界・企業研究のため、在学中に企業や団体で就業体験を行うインターンシップは最近では約9割の学生が参加し(※1)、就職活動の起点ともなっていますが、2024年度卒対象学生より「キャリア形成支援に係る取組」4つ(※2)に分類されるよう定義が改められました。これまで多く実施されてきた半日や1日など短期間ものは「オープン・カンパニー」と分類され、厳密に「インターンシップ」と称するには「就業体験が参加日数の半分以上で、かつ計5日間以上」など、一定の条件を満たすことが必要となりました。またこの「インターンシップ」は、実施企業が参加学生の情報を広報や選考活動に利用でき、本選考との結びつきがより強くなりました。

キャリアサポートセンターでは、定義の改正によりこれまでのプログラムを「キャリア教育」に分類される

「就業体験型」とし、新たに「インターンシップ」を称することが可能なく課題解決型を昨年度よりスタートさせました。この課題解決型は、企業が提示する現実的な課題に対して解決を目指すプログラムで、学生が自主的に考えた解決策の企画・立案・プレゼンテーションを行っていきます。SNSやラジオ出演による地域イベントの告知や、地元の起業家、企業を交えて地域活性化について考えるバーベキュー企画など、学生ならではの柔軟な発想で課題解決に熱心に取り組む姿勢は実習先企業から高い評価をいただき、社会人として求められる自主性の成長に大いに繋がりました。

キャリアサポートセンターでは、今後も変化する就職活動の動向に即したキャリア・就職支援を行っていく予定です。



課題解決型インターンシップ(起業家・企業とのバーベキューの様子)

- ※1 株式会社ディスコ キャリタスリサーチ学生モニター2025 調査結果
- ※2 学生のキャリア形成支援に係る産学協働の取組の4つの類型
- タイプ1 オープン・カンパニー
- タイプ2 キャリア教育
- タイプ3 汎用型能力・専門活用型インターンシップ
- タイプ4 高度専門型インターンシップ(試行)
- 経済産業省「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」

立正大学図書館所蔵

貴重資料紹介

第31回

身延山朝参之図 3枚

豊原国周画 [文久3年(1863)刊] N61/Ku42

「身延山朝参之図」は3枚(以下、右・中・左図)一続きの大判錦絵です。錦絵は多色刷りの浮世絵版画のことを言います。版下絵の作者は豊原国周(1835-1900年)です。国周は、幕末から明治にかけて活動した浮世絵師で、役者絵を得意としたことで知られています。本作の刊行は、文久3年(1863)7月で、版元は江戸深川高橋の「越嘉」(詳細は不明)です。

画題に従えば、本作は、日蓮宗の総本山である身延山久遠寺へ、朝早く参詣する信者たちを描いたものとなります。ですが、その信者たちは、歌舞伎役者の演じる登場人物に見立てられており、各人物に対して役名が記載されています。国周は、本作が刊行された文久3年に、同様の役を演じる役者絵をほかにも描いていますが、その中には、役名と共に役者名が書かれた作品もあります(「身延山朝参/うら梅の福/中村芝翫」など)。

先にも述べた通り、作中に描かれた人物は日蓮宗の信者という設定です。そのため、信者が用いる団扇太鼓や万灯が描かれています。団扇太鼓は、団扇に似た皮張

りの太鼓で、題目を唱える際に用いられます。万灯は、飾られた行灯に長柄を付けたもので、日蓮の忌日に行われるお盆などで掲げられました。中図の万灯には、「身延山」「日蓮大菩薩」「猿若連」、左図のものには「猿若」「猿若町」の文字が見られます。猿若町は、天保12年(1841)に歌舞伎座(中村座・市村座・森田座)が集められた町です。「猿若連」の「連」は、同好の仲間組織を指すので、猿若町の歌舞伎座で演じられた作品中の人物たちが講中(寺社への参詣を目的とした信者の集まり)として身延山に参詣するという設定になるのでしょうか。

ただし現実と照らし合わせると、向かっている場所は久遠寺でなく浄心寺だったようです。文久3年(1863)7月には、久遠寺の出開帳が江戸深川の浄心寺で行われました。出開帳とは、普段見せない秘仏などを別の場所で公開することを言います。この出開帳へ向かう人々を描いた錦絵はほかにもあることが指摘されています。版元の「越嘉」の所在地が同じ深川であることも考慮すれば、本作でもその出開帳が意識されていたはずで、久

遠寺の出開帳へ向かうのも、広い意味では身延山への参詣ということになるのでしょうか。



▲記載された役名
うら梅の福 三ツ大おみつ 蝶々の市 中車の鶴 三筋の権(右図)、
かん菊のきの 音羽のお菊 鶴の丸の彦 かん菊おたの(中図)、
大和屋のお桑 井菱の駒 うづまきの市 高島米升(左図)

★2024年、古書資料館は開館10周年を迎えました。「身延山朝参之図」のほか、古書資料館で所蔵する貴重書・善本をご紹介する展示・イベントの開催を今後予定しております。

サッカー部

一戦必勝、
目指すは関東1部復帰！

3名がプロへの扉を開く

第98回関東大学サッカーリーグ戦2部が4月より開幕しました。毎試合熱い戦いが繰り広げられる中、開幕から4試合を2勝2分とまずまずのスタートを切りました。その後は安定して勝ち星を積み重ねられず12試合を終えて5勝3分4敗の6位(7月31日現在)と苦戦を強いられています。しかしながら首位との勝点差は4点なので、後半戦で巻き返しを図ります。

リーグ戦の合間に行われた「アミノバイタル®」カップ2024第13回関東大学サッカートーナメント大会では、2年連続3回目の総理大臣杯(全国大会)出場を目指し戦いましたが、順天堂大学に延長戦の末敗れ、3回戦敗退となり、日本一の夢は次回へ持ち越しとなりました。

一方、個人に目を向けると、吉野陽翔よしの はるとが栃木SC(J2)、多田圭佑ただけいすけ、川上航立かわかみこうたつが水戸ホーリーホック(J2)、田中誠太郎たなかせいろうがテゲバジャーロ宮崎(J3)に内定し、プロサッカー選手としての扉を開きました。また、川上航立が全日本大学選抜に選出され(当部初)、日韓定期戦で勝利。更に1年生の渡邊優空わたなべゆうらがU-20全日本大学選抜に選出され、マレーシアで開催された「Asian University Football Tournament 2024 in Malaysia」に出場し優勝に貢献。選手の日々の努力が実を結びました。

今後、残すはリーグ戦のみ。11月まで先の長い戦いがまだまだ続きます。一戦必勝『関東1部復帰』を目指し、選手・スタッフ一丸となり全力で戦いますので、引き続き、応援をよろしくお願いいたします。



後列：渡邊優空・田中誠太郎・吉野陽翔
前列：多田圭佑・川上航立

ラグビー部男子

大学選手権出場を目標に
チームを強化

注目選手情報

フィジーからの留学生大型FWロックのバティウエティ・テビタ(204cm/108kg)は、身長2mを超える選手でラインアウト等空中戦での活躍が期待される選手です。もう1人ナミビア出身の留学生、こちらも大型FWロックのクルツ・オリバー(200cm/140kg)。南アフリカのチームに所属していた経歴があり、母国を離れてプレーしていた選手です。身長体重ともに規格外の選手で、突破力のあるプレーでの活躍が期待される選手です。

日本人選手の、ロック/No.8の舩尾縁ふせのりは186cm/107kgと体格に恵まれた選手で、U20(20歳以下日本代表)のTID合宿・国際試合に参加するなどし、正式にU20(20歳以下日本代表)に選出されました。7月2日(火)～17日(水)にエディンバラ(スコットランド)で開催された「ワールドラグビーU20トロフィー2024」に出場しました。

上記以外にも33名が入部し、東大阪市花園ラグビー場で開催される高校の全国大会に出場する強豪校から多数の選手が入部しました。



左：バティウエティ・テビタ/右：クルツ・オリバー

戦績

関東大学春季大会Cグループ / 2勝3敗 5位

リーグ戦へ向けての抱負

橋本敬太はしもとけいた(データサイエンス学部4年)

ラグビー部主務の、橋本敬太です。

春季大会では、自分たちの納得のいく結果を得ることは出来ませんでした。春シーズン上手くいかなかったことを夏合宿でしっかりと修正して、秋季関東大学リーグ戦に臨み、今年こそチームの目標

である、「大学選手権出場」に向けて頑張っていきます。

昨年度の順位(リーグ戦1部7位)に満足せず、昨年以上に厳しい練習の中で自分たちに足りないものを見つけ、チーム一丸となって、同じ目標に向かって活動していきます。

立正大学ラグビー部のよい伝統を残し、新たな歴史を作れるよう今年1年間頑張っていきますので、立正大学ラグビー部の応援をよろしくお願いいたします。



ラグビー部女子

強い
更な

今年度は創部以来最多人数である15人の新入生の入部がありました。

新しい仲間たちがラグビー部女子に加わり、日々のトレーニングに取り組む姿勢がチーム全体に活気をもたらしています。

15人の1年生の中で、データサイエンス学部の丸山希香まるやまののかが、大学生世代の世界大会でもあるFISUワールドユニバーシティゲームズ(旧ユニバーシアード競技大会)に、日本代表として出場しました。フランスで行われたこの大会は世界から各国代表チームが集い競技力を競い合う大会です。女子ラグビーフットボール競技では12カ国で優勝を争い、見事金メダル獲得に貢献しました。

7月に本学のラグビーグラウンドを会場とし、日本全国から大学や大学生世代の選手で編成された12チームが集まり、国内の大学女子7人制ラグビーの王者を決める大会が開催されました。立正大学生にとっては学生だけで出場できる唯一の国内大会であり、この大会に向けて厳しいトレーニングを積み重ね、強化試合もしてきました。

過去大会では全国優勝をしたこともあり、今大会も優勝を目標にしていたが残念ながら目標には届きませんでした。悔しい思いはありますが、このような盛大な大会を立正大学で開催ができることに感謝の思いを持ち、また来年に向けて努力していきます。

また、活動の1つとしてラグビー部女子は地域社会との交流を大切にしており、立正幼稚園にて子どもたちにラグビーを楽しんでもらうための授業を週に1回開催しています。

子どもたちとの触れ合いの中で、スポーツやラグビーの楽しさやチームワークの大切さを伝え、地域社会との結びつきを一層深められるよう活動しています。

今までも取り組んできた活動を通じて、ラグビー部女子はますます団結し、目標に向けて前進しています。部員の一体感が

クラブ等情報

硬式野球部

入れ替え戦を制し2部残留 秋季リーグでは雪辱を果たすべく2部優勝1部昇格へ

硬式野球部は春季リーグ戦において、4勝9敗勝ち点1の6位という成績に終わったものの、東都2部・3部の入れ替え戦では、順天堂大学に2連勝利し、2部リーグの残留が決定しました。リーグ最下位にはなってしまいましたが、応援して下さった皆様のおかげで、2部リーグに留まることが出来ました。ご声援ありがとうございました。

春季リーグ戦は、1点差のゲームを6試合落としてしまうなど、反省点が多く残ったものの、来季へ向けて希望も感じられるリーグ戦となりました。

そして、当部からは今期注目のドラフト候補であるデータサイエンス学部4年の飯山志夢^{いいやまともむ}外野手がベストナイン賞を受賞しました。飯山選手は、リーグ最多盗塁を記録するなど、持ち前の俊足と守備力を生かしてチームを牽引してくれました。大学野球日本代表にも選出され、チェコ・オランダで開催されるハーレムベースボールウィークに出場します。

秋季リーグは9月2日開幕予定となっています。春季の雪辱を果たすべく、2部優勝1部昇格の目標を掲げて日々の練習に励んでいます。

来季は飯山選手のほかに、同じくデータサイエンス学部4年で、最速150km/hをマークした梅田投手や、春季途中から4番を務め、チームトップの得点力を持つ與谷選手の活躍にご注目いただきたいと思います。

皆様のご声援がグラウンドで戦う選手たちの力になっています。これからも立正大学硬式野球部の応援をよろしくお願いいたします。



ベストナインを受賞し日本代表に選出された飯山志夢



今季9試合に登板したエースの梅田健太郎

\\159号 pick up!!//

陸上競技部 駅伝部門

箱根駅伝予選会通過を 目指して走り込む

団結力で る高みを目指す

チームの力強さとなって表れつつあり、立正大学の仲間との絆を大切に、新たなシーズンを迎えられることを期待しています。

学園新聞では、引き続き活動をお伝えしていきます。どうぞ応援よろしくお願いいたします。



写真右:丸山希香



立正幼稚園での活動の様子

6月29日(土)に秋田県男鹿市で、全国男鹿駅伝競走大会が開催されました。

当日は気温が高い中、4年生だけで構成されましたチームが試合に臨みました。

1区では、渡部^{わたなべ}颯が全区間で最長距離の14.9kmを走り、大学駅伝常連校の選手達の中5位で発進しました。

2区では、木實^{このみ}優斗が上りを中心としたエース区間で後半粘りの走りを見せ、順位をキープしました。

3区では、宮岡^{みやおか}陸斗が下りを中心としたコースで積極的な走りをし、順位を守り抜きました。

4区では、榑原^{さかきばら}颯太が最短期間ながら急な上りがあるコースで、チームメイトの期待に応える走りをしました。

5区では、佐藤^{さとう}史彰が積極的にレースをコントロールしラストで粘り勝つことができました。

6区では、渡辺^{わたなべ}大仁が中間から勝負をしかけ、最後まで失速を最低限に抑える走りを見せました。

最終7区では、西川^{にしがわ}優太が安定した走りを見せ、チーム最高順位の6位でゴールすることができました。

当日は立正大学秋田県同窓会の皆様をはじめ沢山のご



声援をいただきありがとうございました。

今回の大会をふまえ、今後の合宿や第101回東京箱根間往復大学駅伝競争予選会では4年生が中心となり、厳しいトレーニングを乗り越えていくこととなります。

箱根駅伝予選会はチームとしての大きな目標です。大学陸上競技の頂点とも言える本選出場を目指す予選会では、今年度は、20番台を目指し、これからも精進していきたいと思えます。

注目選手

ちねんゆうと
知念優斗
(データサイエンス学部1年)

注目選手は1年生ながらチームのエース選手にも負けにくいだけの練習量をこなす知念優斗です。まだ距離への不安は残りますが、スピードに関してはチームの中でもトップクラスです。この夏の合宿での走り込みを終えたら、どれだけ成長できるかが楽しみな選手です。

箱根駅伝予選会だけでなく、今後の大会にぜひ注目してください。



＼ 学生生活を充実させよう！ ＼

CIRCLE 2024

立正大学サークル情報

本学には100以上の
様々な課外活動団体が活動しています。
今回は、「文藝同人会」を紹介します。

CIRCLE INFO

文藝同人会

個性のぶつかり合いは創作の醍醐味。 「書きたい」気持ちを形にする。

文藝同人会は、品川キャンパスで活動しているサークルです。文学部の学生をはじめ、仏教・経営・法・心理など多くの学部から計40名の学生が在籍しています。

主な活動内容は、年2回発行している同人誌「TRASH」の制作・編集です。このTRASHは、創部1987年から発行され、今秋74号を迎える歴史ある部誌です。部誌の制作は、掲載作品の執筆だけでなく、全体の校正などの編集作業、装丁のデザインの制作から印刷業者とのやりとりまで、全てを学生が行います。中でも最も大変なのが、「校正会」と呼ばれる、掲載する作品の文の誤りを校閲する作業で、全員で約1週間かけて行います。

会員が想いを込めて書いた作品のため、修正することを躊躇ったり、また、創作者であるが故

に個が強く、意見の食い違いから中々まとまらないことも多々あります。しかし、個性のぶつかり合いを楽しみ、自分が作った作品を、書くこと・読むことが好きな人に見てもらえる貴重な機会があることが、本サークル1番の魅力です。

最後に代表の岸さんからのメッセージです。「作品を書く」ことに興味があっても、難しいとって足踏みをしてしまっている方も多いと思いますが、「文藝同人会」は、そんな方の背中を押ししたいサークルです。「書きたい」という感情を自分の中にしまっておくのはもったいない！ 十人十色の個性を持った会員たちが、全力でサポートします。少しでも「書きたい」と思っている方がいたら、ぜひご連絡ください。僕たちは、あなたの「個性」を求めています！」



文藝同人会発行の「TRASH」

学生安否確認システム登録のお願い

本学では、自然災害や地震発生時に、在籍する学生の安全確保を目的とし、緊急連絡ならびに安否確認の手段としてセコムトラストシステムズが運営する「セコム安否確認サービス(e-革新)」を導入しています。

お問い合わせ 品川学生生活課 03-3492-6698 / 熊谷学生生活課 048-536-6012

パソコンでの登録やその他詳細については、『ポータルサイト>Myツール>キャビネット>3. 学生生活支援>6. 安否確認システム内の各種資料』を参照してください。

企業コード:01013(半角) パスワード:生年月日の下4ケタ(月日)
ユーザーID:学籍番号(英字は大文字) (例)4月1日 → 0401



大学公式Instagramをはじめました！

大学公式Instagramをスタートしました！このアカウントでは、キャンパス内外での様々なイベント、学生の活躍、学内の最新情報をお届けします。また、学生のインタビュー、学部紹介、クラブ活動の様子なども掲載予定です。皆様の日常に役立つ情報や楽しいコンテンツを発信していきますので、ぜひフォローして最新の情報をチェックしてください！



学園新聞Web版・公式サイト・SNSはこちらから



学園新聞
Web版



公式サイト



公式Facebook



公式X
(旧Twitter)



モラリすX
(旧Twitter)

立正大学マガジン

検索

立正大学

検索

セミナーやイベント情報、クラブ活動の様子などをSNSで配信中！
ぜひフォローしてチェックしてみてください。

本紙へのご感想をお待ちしております！

立正大学学園新聞アンケート

立正大学学園新聞編集委員会では、読者のみなさんの声をもとに、よりよい紙面づくりをしていきたいと考えております。今後の紙面づくりの参考にさせていただきますので、アンケートにご協力ください。



アンケート